# 筑前町議会だより
# うぐいす

2018.November
CHIKUZEN
GIKAI DAYORI

●編集発行
筑前町議会広報特別委員会
電 話 0946－42－6622

祝
敬老

9月定例会 ……………………………… P2
9月一般会計補正予算 ……………………… P4
決算審査 ……………………………… P5
ここが聞きたい（一般質問） ……………… P11

第52号
2018.11

年4回発行
5月･8月･11月･2月

# 9月定例会

9月4日から18日までの15日間の日程で開催された。9月定例会は、報告4件・承認2件・議案7件・認定8件が提案され、審議の結果原案のとおり可決した。

## 大刀洗平和記念館
# 入館料一律 100円 値上げ決定

9月定例会において、大刀洗平和記念館の入館料を一律100円値上げする条例の改正案が提案された。

併せて閉館日は12月29日から翌年1月3日までとしていたが、12月26日から12月31日までの6日間とする。

慎重審議の結果、賛成10名、反対4名で可決された。その主な質疑と討論は次のとおり。

**問** 休館日が変更になる。メリットが感じられないが。

**答** 12月も20日を過ぎると来館者が少ない。今までも1月1日から3日までは特別開館をしていたが条例改定し開館する。また、年末早めに閉館しメンテンス日程としたい。（企画課長）

**問** 大刀洗平和記念館の位置づけで、最近町長は本施設を観光施設と発言しているが。

**答** 平和をテーマにした教育施設であり、平和情報を発信する町の重要な観光スポットとし、非日常的な感動を与えることも観光と認識している。（町長）

**問** 近い将来、消費税がアップになるが便乗値上げがあるのか。また、毎月1回程度の休館日を設けては。

**答** 現段階では消費税増税時の値上げは予定していない。休館日については今後検討する。（企画課長）

**問** 3月議会で一度否決されたが、再度提案された。今後の考えは。

**答** 入館者の減少と経費増額の見込みであり、維持費だけはキープしたい。経費を縮める努力はする。（町長）

賛成 10人 反対 4人で 可決

入館料　一律100円値上げ後

| 区分 | 大人（大学生以下） | 高校生 | 小・中学生 |
|---|---|---|---|
| 個人 | 600円 | 500円 | 400円 |
| 団体 | 500円 | 400円 | 300円 |

※団体は15人以上の1人につき

休館日

| 改正前 | 改正後 |
|---|---|
| 12月29日から翌年1月3日 | 12月26日から同月31日 |

**平成31年4月1日から変更になります。**

採決の状況

## 賛成討論

**田中**　戦争の悲惨さを風化させず、平和の大切さを後世に伝えていく記念館の役割がある。
　記念館を安定的に運営し、記念館の取り組みを充実させるとともに施設の円滑な管理や更新を計画的に行っていくことが必要であり、財源の確保は急務であると考えている。

**横山**　サービスを向上するための諸費用・人件費を含めた運営費の大半は、営利を目的としない建物であっても最低限度の経費はかかる。入館料・グッズ売り上げ等々で賄うのが本筋。
　入館者を増やす努力が必要。このまま赤字を町民の方々に負担していただくというのは、筋が違うが、今回提案された値上げはやむを得ない。

## 反対討論

**山本一**　大刀洗平和記念館は営利を目的としない文化・教育施設であると考えている。平和を守り、平和の重要性を伝え続け、記念館の魅力を全国に情報発信することにより、本町の知名度も上げることができる。将来的にも採算を全く考えなくても良いということは思っていないが、改善や自助努力を行うことが先ではないか。

**河内**　当初は、10万人の入館があれば採算がとれるという説明だった。毎年10万人を超える入館者がありながら、赤字になるとはどうしてか。
　全国的に年末年始の休業が広がる中、年末年始に従業員は出勤させるべきではない。
　また、町民の方の入館料は、せめて据え置くべきと考える。

## 防犯灯を LED化 へ

町内すべての防犯灯をＬＥＤに切り替える工事が始まります。
防犯灯の維持管理費の削減を図り、また2020年以降は水銀ランプの製造・輸出入が禁止となるため、ＬＥＤ化が必要となっています。

### 《工事内容》

- 30～31年度の２年間
- 三輪地区より工事を実施
- 費用　5,724万円（工事請負契約額）

### 《LEDの効果》

- 電気代を削減
- 電球寿命が長く、交換管理が軽減
- 蛍光灯に比べ虫を寄せにくく、農作物の光害を軽減

LED の防犯灯

# ９月一般会計補正予算

**８億７,７２３万円を増額、総額１３０億５,０６９万円**

（前年度９月一般会計補正後の総額123億9,032万円）

## 災害復旧に関連する補正予算が成立

災害復旧関連の補正額は、7月の専決補正（応急復旧工事費の分）と今回の追加補正をあわせて、7億1,471万円となりました。

## ９月補正予算の主なもの

### 【歳出】

**災害復旧関連事業**　補正額 5億286万円

- 災害見舞金支給事業　1,000万円
  ふるさと応援寄附金等を元に一定基準の被災者に見舞金を支給
- 農地・農業用施設災害復旧事業　3億1,824万円
- 農業機械・施設災害復旧支援事業　697万円
  農業用施設・機械の復旧を行い、営農を再開する農業者を支援
- 林道災害復旧事業　6,240万円
- 公共土木施設災害復旧事業（道路橋梁、河川）　1億523万円

**その他の事業**　補正額 1億6,251万円

- ふるさと応援寄附金の増額による積立　3,037万円
- ふるさと応援寄附金の増額による経費　3,113万円
- 子ども医療費支援事業　926万円
- 町営住宅維持管理　986万円
  新太刀洗団地補修工事、マクリ団地解体工事

### 【歳入】

**災害復旧事業（7月専決補正を含む）**

- 国庫支出金　3億9,593万円
- 町債　1億710万円
- 基金繰入金　1億8,245万円

**その他の事業**

- 普通交付税　8,256万円
- 県支出金（各種補助金）　1,342万円
- ふるさと応援寄附金　6,150万円

### ７月専決補正予算内容

**補正額2億1,186万円（災害復旧費）**

- 農地・農業用施設災害復旧事業　1億1,230万円
- 公共土木施設災害復旧事業（道路橋梁）　2,527万円
- 公立学校施設災害復旧事業　4,876万円
  中牟田小学校被災分、学童保育施設等

# 平成29年度 決算審査

平成29年度の一般会計決算では、前年度より歳出総額が減額し、経常収支比率が減少した。しかし、財政健全化判断比率は若干増加し、財政運営状況の厳しさは続いている。決算審査特別委員会では、今後の取り組みについて質疑を行った。

※詳しい内容は、広報ちくぜん10月号の3～7ページをご覧ください。

## ◆決算（普通会計）

※普通会計：地方公共団体ごとに会計の範囲が違うため、比較しやすいように地方財政統計上用いる会計区分

**歳入総額**
**127億8,544万円**
（前年度比4.4％減）

**歳出総額**
**125億3,346万円**
（前年度比4.6％減）

## ◆主な基金

（単位：千円）

| 区　分 | 28年度 | 29年度 |
|---|---|---|
| 財政調整基金 | 2,685,097 | 2,413,565 |
| 減債基金 | 273,282 | 127,325 |
| 地域振興基金 | 1,107,235 | 1,554,400 |
| 公共施設等整備基金 | 719,218 | 655,837 |
| 農業振興基金 | 389,334 | 393,463 |
| 多目的運動広場整備基金 | 139,119 | 153,728 |
| ふるさと応援基金 | 97,014 | 193,434 |
| そったく基金 | 124,814 | 119,169 |

## ◆町の借金（町債）

**160億2,161万円**
（前年度比3.9％減）

※このうち合併特例債などは交付税で戻ってくるため、実際の町の負担は軽減されます。

## ◆町の預貯金（基金）

**57億4,406万円**
（前年度比1.3％増）

## ◆町の財政状況

| 区分 | 標準財政規模（千円） | 財政力指数 | 実質収支比率 | 経常一般財源比率 | 経常収支比率 |
|---|---|---|---|---|---|
| 28年度 | 7,422,823 | 0.47 | 3.2% | 95.7% | 96.8% |
| 29年度 | 7,414,797 | 0.47 | 3.2% | 95.8% | 95.5% |

標準財政規模 ・・・・・・・地方公共団体の普通交付税などの一般財源の標準規模を示す。
財政力指数 ・・・・・・・・・財政力を示す指数で1に近くなるほど財政に余裕がある。
実質収支比率 ・・・・・・・実質収支の標準財政規模に対する割合。おおむね3%から5%が望ましい。
経常一般財源比率 ・・・標準財政規模に対する経常一般財源の割合。100%を超えるほど財政の弾力性がある。
経常収支比率 ・・・・・・・経常的な経費の支出に充当された経常的な収入の割合。

## 監査委員の意見（要旨）

**一般会計および特別会計**

一般会計・特別会計決算及び基金の運用状況とも計数に誤りはなく適正に処理された。備品は各職場とも適切な管理が行われていた。

本年度は、株式会社ヤクルト本社への工業団地売却の完了のほか、ファーマーズマーケットみなみの里の弁当工房の新設、中牟田小学校でのアフタースクール事業のスタート、私立保育園の新設に伴う給付などが行われた。

経常収支は2億3900万円余の黒字、また経常収支比率は95.5%と前年度比1.3ポイントの減。地方債残高は減少しつつあるが、財政健全化の指標となる実質公債費比率は14.0%と前年度比0.5ポイントの増。将来負担比率は109.4%と前年度比2.8ポイントの増と、いずれも前年度に比べ悪化しており、資金繰りの悪化や将来の財政負担の増大が懸念される。

合併後のインフラの整備等が大きな要因であり成果も上がっているが、定住人口の増加や積極的な企業誘致、町税の徴収強化対策の継続等、一層の財源確保に努め、歳出の効率的な執行を図るなど、町当局の努力を望む。

特別会計については、国民健康保険税の徴収率は前年度と比べ横ばいにあり、一人当たりの医療費は前年度に比べ大きく増加。引き続き財政の健全化に努力されたい。

**公営企業会計**

水道事業会計の決算は、計数に誤りはなく適正に処理されていた。

普及率はようやく51.4%と過半に達したが、まだまだ向上させていく必要がある。引き続き、計画的・効率的な事業の推進に努め、水道水の安定的な供給と普及を図るよう望む。

議場で報告する北原康則代表監査委員

## 議員による質疑

**問 町の今後の目標として、経常収支比率はどの程度の目標を置いて運営されるのか。**

答 28年度の県内の経常収支比率の平均が92.2%。29年度がまだ不明のため、現時点ではこの平均を視野に入れて取り組んでいきたい。（財政課長）

**問 92.2%を目標としてどのように取り組んでいくのか。**

答 財政状況が厳しい最大の要因は公債費。今後の5年間が特に厳しいが、公債費の繰上償還の計画を立て、経常経費のうちの物件費・委託料の削減、土地の売却等に取り組んでいきたい。（財政課長）

**問 財政計画を毎年出して、その計画に基づいて執行していただきたいが。**

答 財政計画は5年間の目標を定めて策定している。目標はあくまで目標として変えずに見直しを行いながら、それを実行する方策を検討する必要があるので、当初予算時にまた提示したい。（財政課長）

## ◆財政健全化判断比率

| 区　分 | ①実質赤字比率 | ②連結実質赤字比率 | ③実質公債費比率 | ④将来負担比率 | 公営企業の資金不足比率 |
|---|---|---|---|---|---|
| 28 年度 | なし | なし | 13.5% | 106.6% | 資金不足なし |
| 29 年度 | なし | なし | 14.0% | 109.4% | 資金不足なし |

実質公債費比率 … 公債費に費やした一般財源の額が標準財政規模に占める割合。
18%を超えると危険領域といえる。

将来負担比率 …… 地方債現在高など将来負担額の標準財政規模に対する割合。

# ムダづかいを しよらんね？

## ～平成29年度決算を問う～

**決算・事業成果に対する議員の質問は、117 項目にわたった。その一部を掲載。**

### 財政・総合戦略

**問 財政調整基金の適正金額は。**

答 全国平均は標準財政規模の10％（7億円程度）だが、災害を考えると、20億円程度は必要。（財政課長）

**問 省エネ対策の新電力契約会社と削減電気代は。**

答 九電から契約先をエネサーブに変更し、29年度は平和記念館15％、今年3月から学校・図書館・総合支所は25％削減できる予定。（財政課長）

**問 コンビニ納税ができるようにしてもらいたいが。**

答 費用対効果という考え方からすれば難しい。（税務課長）

**問 敬老館の食堂運営委託事業が赤字だが、施策改善の考えは。**

答 メニューの工夫などで年々赤字は減少している。また、敬老館の利用者にアンケートを行い、その結果で今後の方向性を考える。（福祉課長）

**問 ふるさと納税応援寄附金に対して出て行った金額の合計は。返礼品を30％にする具体的な改善策は。**

答 支出は4592万2千円余。寄附金1万円に返礼品3千円と消費税240円がかかる。この消費税分を是正する。（企画課長）

**問 自主文化事業は講師選定や人集めに苦慮しているようだが、予算の有効活用を考えるべきではないか。**

答 近年入場者や収入も減っている。今後も継続して自主文化検討委員会で内容を計画する。（生涯学習課長）

**問 総合戦略を31年度までに達成とあるが見込みは。**

答 外部有識者で構成される総合戦略推進委員からは特に問題ないと回答を受けている。（総務課長）

**問 中村学園・九州大学の研究は見えるような形で提案を。**

答 研究の報告会は内部でしているが、発表会は広く町民にも声掛けをしていきたい。（総務課長）

### グローバル化

**問 英語力強化事業で各学年の英検合格率、国・県との比較は。**

答 中1（5級）が82％・中2（4級）が56％・中3（3級）が40.3％。29年12月調査の3級以上が国18.1％、福岡県14.3％、筑前町40.3％の合格率。（教育課長）

**問 グローバル化による外国人住民への言語対応は。**

答 タブレット通訳導入を検討している。語学能力を持つ職員もいる。（副町長）

## 交通手段

**問　公共交通活性化対策で利用状況に応じて小型化を検討しているのか。**

答　コスモス号とめくばり号については運行や乗降の実態にあわせ車両の小型化も検討し、買い替えを予定している。（企画課長）

**問　マイクロバスのニーズが高くコストが増大傾向にあり検討するとあるが。**

答　192件中、学校・行政・社協が８割以上である。本当にバスが必要か検討していきたい。（財政課長）

## 農業・災害

**問　多面的機能支払交付事務事業が30年度で終了するが、今後の施策は。**

答　多面的支払い・中山間直接支払い・環境保全型の三つの交付金が法制化され、今後も制度は継続されると考えている。（農林商工課長）

**問　夜須高原地域の災害備蓄保管場所は。町から各家庭へ備蓄品準備の推進を。**

答　現在、本町・支所・夜須高原青少年自然の家に食料を保管している。各家庭へは毎年、広報ちくぜんで特集して備蓄品準備を働きかけている。（環境防災課長）

備蓄品の準備を

## 子育て・健康

**問　保育士の採用で教養試験の見直しは行われたのか。**

答　公務員試験対策が不要な試験内容になった。（総務課長）

**問　美和みどり保育所が老朽化しているが建て替えの計画は。**

答　建て替えの計画はないが、公共施設のプロジェクト委員会において、建設時の耐久年数であと10年と確認されている。（こども課長）

**問　障がい児を受け入れている保育所に対して保育士の加配は行われているのか。**

答　民間の保育所へは補助制度で対応している。公立保育所でも民間制度を基準に保育士を調整している。（こども課長）

**問　種類別がん生存率を知らせて、特定健診・がん検診受診率向上に役立たせては。**

答　データ・数字等使える部分については、啓発に活用し受診率向上に努力したい。（健康課長）

## 住宅・施設・水道

**問　東小田団地はなぜ、三階建てにして入居者数を増やさなかったのか。**

答　現在361戸ある町営住宅を、将来的には300戸程度に減らしたい。（都市計画課長）

**問　支所・公共施設の維持管理等の今後の検討は。**

答　財政課の公共施設管理計画に基づいてやる。（住民課長）

**問　水道の未接続世帯への対応は。**

答　早期接続をお願いする通知を送付している。事前加入制度で工事費の分は町が負担しているため、接続されない場合はこの負担分、工事費の請求をしていきたい。（上下水道課長）

# 各議員の賛否

## 平成30年9月定例会

| 区分 | 審議結果 | 議案名 | 深野 良二 | 田口 讓司 | 横山 善美 | 山本 一洋 | 奥村 忠義 | 木村 博文 | 石丸 時次郎 | 山本 久矢 | 川上 康男 | 福本 秀昭 | 梅田 美代子 | 一木 哲美 | 河内 直子 | 田中 政浩 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 報告 | | 株式会社筑前町ファーマーズマーケットみなみの里の経営状況について | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| | | 専決処分の報告について（大刀洗平和記念館駐車場内での事故） | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| | | 平成29年度財政健全化判断比率 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| | | 平成29年度公営企業の資金不足比率 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 専決 | 承認 | 平成30年度筑前町一般会計補正予算（第3号） | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| | | 筑前町税条例の一部を改正する条例 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 条例 | 可決 | 筑前町立大刀洗平和記念館条例の一部を改正する条例の制定 | ● | ● | ○ | ● | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ● | ○ |
| | | | 反対討論・賛成討論は、P３をご覧ください。 | | | | | | | | | | | | | |
| 補正予算 | 可決 | 平成30年度筑前町一般会計補正予算（第4号） | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| | | 平成30年度筑前町国民健康保険事業特別会計補正予算（第2号） | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| | | 平成30年度筑前町一般会計補正予算（第5号） | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 決算 | 認定 | 平成29年度一般会計歳入歳出決算 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ● | ○ |
| | | | （反対討論）河内：全般にはおおむね支持できるが、一つの任意団体である部落解放同盟に600万円を超える補助金は、町民の理解を得られない。また、西田地区小規模住宅地区等改良は事業計画の策定に至らず29年度の成果はない。見直して再検討すべき。 | | | | | | | | | | | | | |
| | | | （賛成討論）深野：部落解放同盟に対する補助金は、事業の実施状況、会計状況等の審査の上適正に処理されており、決算審査特別委員会において承認されている。 | | | | | | | | | | | | | |
| | | 平成29年度国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ● | ○ |
| | | | （反対討論）河内：広域化に伴う保険料の据え置きなど評価できる部分も多いが、収入未済額の徴収に力を入れ不能欠損を回避していただきたい。 | | | | | | | | | | | | | |
| | | | （賛成討論）奥村：医療費が増加し赤字決算が続いているが、県主体となる改革が始まり健全財政運営に向けた取り組みを進めており、特定健診等の各種取り組みに継続的に努めている。 | | | | | | | | | | | | | |
| | | 平成29年度後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ● | ○ |
| | | | （反対討論）河内：年齢によって医療を差別する後期高齢者医療保険には反対であり、元の老人医療保険に戻すべき。今回は低所得に対する軽減措置が縮小され、被用者保険の被扶養者であった被保険者に対する軽減が縮小された内容も含まれている。 | | | | | | | | | | | | | |
| | | | （賛成討論）木村：本町の被保険者１人当たりの医療費は県内でも高い水準にある中、広域連合と連携して医療費抑制対策を含め適正に業務をこなし、75歳以上の方々に適した医療を提供している。 | | | | | | | | | | | | | |
| | | 平成29年度住宅新築資金等貸付事業特別会計歳入歳出決算の認定 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ● | ○ |
| | | | （反対討論）河内：本来なら28年度で償還は終了なのに、66件1億3000万円以上の未償還を残しており、後世の職員に多大な負担を強いる。しかも9件分2575万円が不能欠損された。 | | | | | | | | | | | | | |
| | | | （賛成討論）山本一：29年度決算において、死亡や破産免責による回収不能分は債権の放棄及び不能欠損処理を行い、適正に債権管理がされている。 | | | | | | | | | | | | | |
| | | 平成28年度農業集落排水事業特別会計歳入歳出決算 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| | | 平成28年度公共下水道事業特別会計歳入歳出決算 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| | | 平成28年度水道事業会計決算 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| | | 平成28年度工業用地造成事業特別会計歳入歳出決算 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| その他 | 可決 | 福岡県介護保険広域連合の処理する事務の変更及び福岡県介護保険広域連合規約の変更 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| | | 工事請負契約の締結（筑前町防犯灯LED化工事） | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |

※　議長　矢野　勉は、賛否同数以外採決に加わらない。○は賛成、●は反対、欠は欠席、退は退席。

# 視察研修報告 ～より良いまちづくりへ～

## 文教厚生常任委員会

日　程　平成30年６月27日～29日
視察地　大阪府門真市・京都市・滋賀県守山市

〈門真市〉子どもの未来応援ネットワーク

大阪府から委託されたモデル事業であり、子どもの貧困問題が問題視される中、貧困連鎖の歯止め・登校支援・18歳までの医療費の無料化等、先進的に貧困対策事業に取り組むものでした。

〈京都市〉廃食用油燃料化施設

1997年に開催された京都議定書「地球温暖化防止会議」による、バイオディーゼル燃料化事業の取り組みとしては、使用済天ぷら油を、レストラン・食堂・家庭等から回収し、燃料化して市営バスやゴミ収集車の燃料に使用していました。

〈守山市〉子どもの学習支援･居場所づくり活動

一人親世帯や生活困窮者世帯の、小学３年生～高校３年生までを対象に「カンフォーラ第２の学校」を週１回開校し、無料で大学生が勉強を教えたり、一緒に遊んだりしています。

福祉関係では「市民の健康づくり・生きがいづくり」応援の一環として、65歳以上でボランティア活動を始めたい人に、ポイント事業の参加を呼びかけています。貯まったポイントは商品券等と交換できます。

※視察研修で学んだことを議会で取り組み、本町に活かせるよう努力いたします。

# ～ 議会活性化の取り組み ～

## 筑前町商工会との意見交換会（8月23日）

議会では、色々な団体や住民の方々の意見や要望を幅広く聞くことにより、行政に反映させることを目的として、今回も商工会役員と意見交換会を開催いたしました。

商工会会長をはじめ、代表理事の方々から貴重な御意見・要望をいただき、これから執行部に対して提言していくこととします。

〈おもな内容〉

- 商工業の各種相談に対応する窓口の設置について
- 桜並木のライトアップに対する支援
- 道の駅・みなみの里への商工会の参加
- 街灯撤去に関する問題

# 9月定例会 ここが聞きたい！ 一般質問 町政を問う

9月議会では、9人の議員から15件の一般質問が行われ、町政全般について2日間にわたり活発な議論が展開されました。

なお、全文記録（会議録）については、筑前町ホームページに掲載しますので、ご覧ください。（http://www.town.chikuzen.fukuoka.jp/）

筑前町議会　検索

※一般質問に関する記事は、質問者自身で作成しています。

## 会計年度任用制度 町民の利益に

### 均等な機会の提供、成績主義で任用

石丸時次郎　議員

### 会計年度任用制度 非正規職員に希望

**石丸**　地方公務員法改正は非正規職員の待遇改善が目的。必要な財源を国に要請すべきでは。

**町長**　国が法を制定するのであれば財源措置を講じるは当然。全国町村会等々と要請活動を続けていく。

**石丸**　継続雇用年数が一定に達していることで応募制限を設けているが問題はないのか。

**総務課長**　今回、地公法が改正され会計年度任用職員制度が導入される。新制度の考え方、運用方法に沿うよう必要な見直し、改善を行っていく。

### 不適切な空白期間 是正を図れ

**石丸**　本町では新たな任期との間に空白期間を設定。新地公法は是正を求めているが。

**総務課長**　会計年度任用職員導入に向け必要な見直しを行っていく。

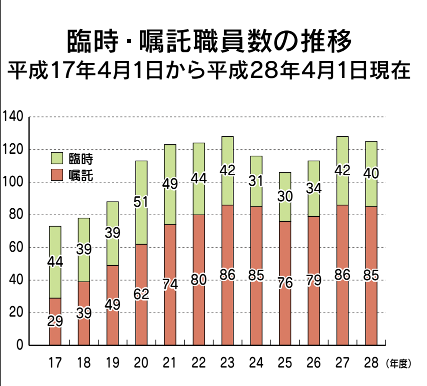
**石丸**　非正規職員（専門職）の配置で嘱託職員規定要件に該当しない任用も存在するが。

**総務課長**　福祉、保育等の人材確保は困難。新制度導入に伴い勤務条件等の改善も検討・研究していく。

### 質の高いサービス 経験・スキルが

**石丸**　本町に勤務する非正規職員を新制度職員に移行することが町民の利益につながるが。

**総務課長**　新制度職員の任用は現在本町に勤務する職員を含め、すべてに均等な機会を提供する。その上で成績主義に基づき任用する。




合併時からの臨時・嘱託職員の推移

川上康男　議員

# 補助率のアップ等要望が責務だ

## 国・県等へしっかり要望していく

### ため池の保全管理を問う

**川上**　**今回の豪雨で二つのため池が決壊したが原因は。**

**農林商工課長**　中牟田地区の決壊したため池を、九州農政局・農研機構が調査。被災形態としては、滑り破壊と整理された。原因は、長時間にわたる貯水の上昇及び降雨浸透が、のり面崩壊を引き起こしたと考えられる。

**川上**　**決壊したため池の地元負担割合は。**

**農林商工課長**　今回の豪雨災害を激甚災害に指定。地元負担は補助率に照らし合わせ、国庫補助率を除いた額を町条例に基づき、町70％、地元30％と試算している。

**川上**　**被災された方々の支援策は。**

**町長**　深刻な問題と考えている。全国から戴いた浄財を主に、手だてを組み立てたい。

**川上**　**ため池改修には、県営ため池事業、県単事業の町・地元負担の補助率アップ、採択要件の緩和等、国・県への要望が責務だ。**

**町長**　今回の豪雨災害を農水省・総務省等は、ため池についてかなり関心が高い。改修には莫大な費用が必要であり、地元単独では無理。しっかり国・県等に対して補助率の向上を要望していく。

**川上**　**地元負担軽減が重要だ。**

**町長**　安全性と財政問題、厳しい問題がある。国・県等にしっかり要望し、町と地元の分担割合については検討させていただきたい。

決壊した中島池

田口譲司　議員

# 地球に優しい環境づくりを

## 環境保全に努める

### 有害ごみについて

**田口**　**現在、分別収集が行われているが、年間数量はどのくらいか。また、最終処分は。**

**環境防災課長**　29年度の搬入量は、電球と蛍光管が約3670kg。電池と水銀体温計が約7960kg。処理は、委託業者に搬送、再資源化し、環境保全に努めている。

**田口**　**2017年8月16日、水銀と水銀化合物による環境汚染や健康被害の防止を目指す国際条約が発効されている（水銀に関する水俣条約）。2020年までに製造・輸出入が禁止される。皆で次世代にいい環境をつなごう。**

### 熱中症対策について

**田口**　**猛暑による小・中学校での熱中症事故を防止するため、町ではどのように対応しているか。**

**教育課長**　気象情報や児童生徒の体調を踏まえ、躊躇なく計画の変更・中断等を行うとしている。学校では救急搬送や重症化するようなことはなかった。

**生涯学習課長**　7月末キックベースボール大会を開催予定だったが、高温注意報が連日発表されており、急遽監督会議を開き中止した。また、今後開催時期を検討したい。

**田口**　**独居老人等の配慮はどのようにされたか。**

**福祉課長**　地域包括支援センターや在宅支援センターの職員が、電話や訪問を行っている。民生委員さんも、担当地域の見守り活動をしていただいている。

### ため池等の管理・清掃について

**田口**　**町のため池が68ケ所あり、管理は地域の水利組合等に委ねてあると思うが、情報交換、指導はあっているのか。**

**農林商工課長**　今後、農業関係・農事組合等の会議の中で対応したい。

### 防災・減災について

**田口**　**最近異常気象が続き、猛暑現象・地震・猛烈な台風・豪雨が見られるが、道路清掃をもう少しやる必要がありはしないか。**

**建設課長**　側溝を含め溜桝等の清掃や管理には予算の限界もある。どうしても側溝や溜桝の清掃が困難な場合、区長を通じ要望書を提出していただきたい。

# 農業の振興策と将来像は

## 直売所の野菜販売や6次産業化の推進

山本一洋　議員

### 農業を守る手だては

**山本**　本町の基幹産業である農業を守るために、高齢化や担い手の問題解決のために、どのような具体策を講じようとしているのか。

**農林商工課長**　高齢化については、農林業センサスでも上昇している。地域ぐるみで農地を守る集落営農組織の受け皿として、法人化の推進に取り組んでいる。

**山本**　地域の中では、高齢化については待ったなしの状況だ。行政として地域任せではなく本気で支援をしてほしい。

**農林商工課長**　1集落が法人化したので、モデル法人として支援したい。

家族で農作業

### 転入者に対して区の対応と協力は

**山本**　分譲住宅や新築の住宅建設により人口が増えることは喜ばしいが、区への加入や事業に対する協力について問題が生じてきているが、対応は。

**総務課長**　転入された方と区長さんが接触される機会が持てるようにしている。良い取り組みの事例等があれば、研究したい。

**山本**　すでに県内でも色々な取り組みがされている。今後、区へ加入しない人が増えれば大変な問題が生じるのでは。

**総務課長**　他自治体でも有効な事例、手法の情報があれば参考にしたい。

**山本**　区長さん自らが転入者の方に直接会われて、見守り・防犯・防災など、地域のコミュニティの重要性を訴えながら頑張ってある。ぜひ支援をしてほしい。

# 通学時の交通指導必要だ

## 生徒指導主事中心に指導実施

山本久矢　議員

### 交通指導の徹底を

**山本**　通学時にルールを守らない生徒が多い。一時停止をしない、信号無視をする。通学時の交通指導を行っているのか。

**教育課長**　児童生徒交通安全教室は4月に行っている。

生徒指導主事中心に交通指導を行っている。

**山本**　三輪・夜須中学校で自転車点検等行っているのか。

**教育課長**　自転車販売店、PTA協力で点検等を行っている。

整備不良があった場合は確実に修理を行うように指導している。

**山本**　自転車安全教育指導者講習会が実施されている。各校の教諭は昨年度参加したのか。

**教育課長**　三輪小・東小田小・三輪中・夜須中の4名が参加。

**山本**　生徒が事故を起こしたり、被害者になった場合の対応手順は。

**教育課長**　複数の教員で現場へ急行、人命第一に怪我の有無を調べ、関係機関・保護者へ連絡し、教育委員会へ報告。

### 公用車にドライブレコーダー必要だ

**山本**　ちくちゃんバスや公用車にドライブレコーダーを取付けたらどうか。防犯対策にもなる。

**環境防災課長**　地域巡回バス3台は特性を生かし地域の見守りを担っており、装着は済んでいる。公用車4台には装着済み。

**山本**　特に遠くに出張の多い公用車には必要だ。

**環境防災課長**　交通事故の責任明確化という面から公用車担当課を含めて話し合いをしていく。

危！一時停止だぞ。

福本秀昭　議員

# 河川の転倒井堰への改修を

## 相当な工事費用を伴う

### 河川の災害対策は

**福本**　集中豪雨による河川、ため池の決壊等が発生した。今回の甚大な被害は災害復旧本部によって速やかに対応された。山家川では一時、井堰の周辺は両岸が満水の状況で危険水位であり、井堰には構造上問題無かったのか。

**農林商工課長**　井堰は大雨時には流れを阻害するが、農業には灌漑（かんがい）用水に利用する営農形態が現在まで続いている。

**福本**　井堰は農業を含めて大事な役割を果たしている。山家川・曽根田川・草場川と３本大きな河川がある。井堰数は確認されているのか。

**農林商工課長**　河川現況台帳により45ヶ所を確認している。

**福本**　町内の要所には転倒井堰の設置があり、今後の改修の考えは。

**農林商工課長**　地元農業者の要望受け、国・県等の事業なども活用して改修を進めてきた。河川改修計画をもって協議するが、一概に希望通りの改修は厳しく、受益者負担もあり、今後要望があれば協議をする。

**福本**　今後、集中豪雨による甚大な被害を考えた時に転倒井堰設置予算は大変と思うが、人の命の安全を考えた時に、出来るところから取り組んでは。

**町長**　国においても今まで以上に関心があり、我々も要望している。技術的にも、財政問題にもぜひ国の応援をいただき、防災の視点からも理解と協力を町から要請する。

井堰（いぜき）周辺は危険水位になりがちだ

梅田美代子　議員

# 低出生体重児向け母子手帳交付を

## 「ちくぜんすくすくサポートファイル」で対応

### リトルベビーへ配慮を

**梅田**　未熟児など低体重で出生する子どもが約１割いる。通常の母子手帳では対応できない部分をフォローする「低出生体重児向け母子手帳」の交付を。

**健康課長**　発達相談等で必要とされる方への成長記録「ちくぜんすくすくサポートファイル」を低体重児向けに工夫し活用する。低体重児手帳は、今後の研究課題としたい。

### 災害への対応は万全に

**梅田**　町主導で山間部15行政区の避難訓練が実施された。町主導で年間行事として全行政区毎に避難訓練をすべき。

**環境防災課長**　行政区で温度差があり現段階では難しい。町全域で訓練ができればと思っている。

**町長**　本来は全域でやりたかった。

**梅田**　災害時トイレの二重三重の備えとしてマンホールトイレの整備を。

**上下水道課長**　各避難指定所への設置は可能であり国交省の半額補助がある。総合的な見地から検討を進めたい。

**梅田**　赤ちゃん用液体ミルクは容器のまま哺乳瓶として活用でき、洗浄や消毒が不用。液体ミルクを備蓄に。

**環境防災課長**　国内での製造販売段階で検討する。

### 教育行政の充実を

**梅田**　２０２０年度から必修化の小学校プログラミング教育のＩＣＴ整備、教員研修は。

**教育課長**　充実に向けさらに研究していく。

**梅田**　通学時の荷物の軽減は図られたか。

**教育課長**　学用品の一部を学校に置いて帰れるよう配慮している。

ちくぜんすくすくサポートファイル

# 日本農業の再生を
## 創造力を活かした農業に発展性がある

河内直子　議員

### TPP批准町の対応は

**河内**　21世紀の世界は食料は金さえ出せば、いつでも輸入できる状況ではなくなっている。国際限ない自由化を推進する政治の下では、我が国農業の存立基盤が狭められる。TPP批准に対し、どのような対応をするのか。

**町長**　甚大な影響を与えると認識している。
町村会での決議を持って、関係省庁へ要望に出向くなど考えている。

家族農業重視は世界の流れ

**河内**　家族農業重視は世界の流れ。地域での農業再生の模索や実践に踏み出すことが重要。

### 税負担軽減のため制度活用の周知を

**河内**　介護認定者と認知症の方は、確定申告時に障害者控除を受けることができ、税の負担が軽減される。周知すべきでは。

**福祉課長**　確定申告の時期に町公報でお知らせしている。特化した個別の案内は困難。

### 3歳未満の下水道料金免除を

**河内**　子育て支援の一環として、せめて3歳未満は人員割免除を。

**上下水道課長**　毎年8億円を超える起債償還が、あと9年間推移していく。現段階における制度創設は厳しい。

### 学校健診後の治療の実態は

**河内**　健診で要受診とされた子ども達の受診の実態は。

**教育課長**　全体的な把握はできていない。

**河内**　未受診が子ども達の学習環境、学校生活の安全に影響を及ぼす。把握が必要では。

**教育課長**　受診状況の把握と治療につなげる努力を行っていく。

# 課題点在の県道77号（山麓）線
## 県と連携し安全対策に取り組む

一木哲美　議員

### 安全対策・改善を

**一木**　旧県道77号線、赤坂、砥上地内の大型車進入対策は。

**建設課長**　現段階では具体的な解決策がない。

**一木**　那珂県土整備事務所によると「冷水バイパスの下を抜け山家側の方で接続を計画。設計のため測量の立入了解を山家地区住民からいただいた。これから測量を行う。」

**町長**　隣接自治体と密接に協議し進める。

**一木**　三並交差点改良を先延ばししないように。

**建設課長**　県では、早期取組みは難しい考え。

**一木**　弥永西交差点で左折車渋滞対策は。

**建設課長**　県に渋滞解消解決策をお願いする。

**一木**　曽根田交差点から畑嶋公民館前までの間、三並小学校通学歩道横にガードパイプ設置を。沿線関係者で要望書を提出したが。

**建設課長**　県は設置に向けた検討をしていきたい考え。連携して取組む。

三並小へ通う児童の横を通る大型車

### 国道沿い歩道工事を

**一木**　篠隈地区国道386号沿線歩道整備工事は。

**建設課長**　県は第一次整備区間をやすらぎ荘交差点入口から富士ピーエスまで実施の考え。

### 合併事業とお金

**一木**　合併特例債関連事業は何項目、起債対象事業費、総事業費は。

**財政課長**　35項目。事業費115億円。交付税措置があるので29億1700万円の町負担で実施。

**一木**　合併から現在の基金と地方債の推移は。

**財政課長**　基金は約9億6400万円減少。地方債は約14億9300万円増加。

## 傍聴をしての感想

今回初めて傍聴させていただきました。ア～なるほど、こういう形での質疑応答がなされているんだな～っと思いました。議員さんたちも勉強されていることがよくわかりました。知らない事業がいろいろなされていることもわかり良かったです。

（T・Yさん）

専門性を持つ非正規職員の待遇改善は以前から必要なことだと思っておりました。今回の法改正により、各自治体も対応を迫られるわけですが、一番肝心な財源確保について、具体的な発言が欲しかったと思います。

（I・Kさん）

9月定例会の傍聴者数は28人でした。傍聴はどなたでもできます。多くの方をお待ちしています。

## 傍聴へどうぞ！

平成30年
**12月定例会（予定）**

●開会
12月 5日（水）10:00～

●一般質問
12月10日（月）10:00～
～12日（水）〃

●閉会
12月14日（金）14:00～

※会期予定は11月20日の議会運営委員会で確定のため、変更する場合があります。

## 一般質問公開のご案内

開会前からホームページで公開
「筑前町議会」⇨「定例会・臨時会情報」⇨「一般質問通告書」をクリック！

## vol.21 街角TOPICS　下高場区

### 敬老祝賀会

9月17日に下高場区でも恒例の敬老祝賀会を開催いたしました。

70歳以上の対象者は300人おられます。その内130名の方々に出席いただきました。

幼稚園児の可愛らしい歌・踊りで幕を開け、フラダンス・シニアクラブメンバーによる踊りなど楽しい時間を過ごすことができました。

皆様、健康には十二分に気をつけられ、いつまでもご壮健で心豊かな人生を過ごされますようご祈念申し上げます。

区長　横山 了介

ゆったり南国気分

## 編集後記

9月定例会では、災害関連事業の補正予算を可決し、安全安心な町へ早期復興を望みます。

さて、来年1月に筑前町議会議員選挙が行われるため現在の議会広報特別委員会メンバーの最後の広報誌となりました。

町民の方々にとって身近に感じられる広報誌作成を目指していましたが、今までの議会だよりは読みやすかったでしょうか？ご愛読ありがとうございました。

議会広報特別委員会

**発行責任者**
議長　矢野 勉

**議会広報特別委員会**
委員長　横山 善美
副委員長　山本 久矢
委員　深野 良二
委員　奥村 忠義
委員　梅田 美代子
委員　河内 直子



印刷／井上紙工印刷㈱　福岡県朝倉市持丸625-1　☎0946-22-3951